

「よむよむ通信」 第2号

秦野市教育委員会

～たくさん本を読んで、

「読書の森」を育てよう！～

秦野市教育委員会では、子ども達の読書活動を応援するべく、「はだのっ子アワード」読書部門として、「読書の森」を発行しています。

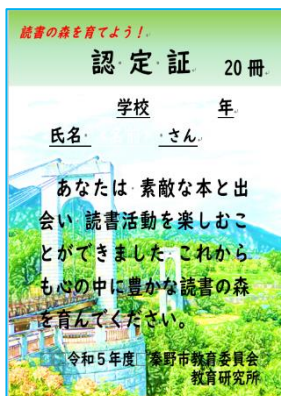
「読書の森」は、いわゆる読書活動通帳で、「読んだ本のタイトル・日付・短い感想」を記入し、書き溜めていきます。そして、20冊を読み終わると教育委員会からフォトサイズの「認定証」をお渡ししています。認定証は、20冊ごとの認定で、継続していくと40, 60・・・と、さらに認定証が発行されます(昨年度は、342枚の認定証を発行しました。

「読書の森」は各小中学校に全児童生徒数配布しているほか、秦野市教育委員会ホームページ「はだのっ子学びのページ」からもダウンロードできます。学校で、御家庭で、ぜひご活用ください。

令和5年6月5日



はだのっ子アワード
公認キャラクター
「アワドン」



ホームページ
二次元コード

富士山理論で言葉のシャワーを！

秦野市教育委員会では、平成30年度より横浜国立大学の高木まさき副学長を学力向上アドバイザーとして招聘し、専門である国語教育について助言をいただいています。そんな中で読書の重要性の一つとして、知識の定着に関わる「富士山理論」を教えてくださいました。



「使える知識」を富士山の雪の積もった部分だとすると、その下の裾野(まだ使えないが聞いたことがある言葉)が広がっていればいるほど、使える知識が積もっていくというものです。そのためには、読書をはじめとする「言葉のシャワー」が重要とのこと。様々な本に触れて、たくさんの言葉に親しみましょう。

【おすすめ図書の紹介コーナー♪「すみっこ」】

○絵本「おむすびさんちのたうえのひ」

(かがくいひろし:PHP 研究所)【幼児～小学校低学年むけ】

せっせのせ、とみんなで田植えをします。秋においしい新米を食べる日が待ち遠しいですね。

○「宇宙人に出会う前に読む本」

(高水裕一:講談社)【小学校高学年～中学生むけ】

この本は、惑星宇宙ステーションにいるあなたが、様々な惑星の宇宙人の質問に答えていくうちに、科学知識や宇宙について学べるようになっていきます。これで、いつ宇宙人に会っても大丈夫！？

